

浅岡 博教授 著作目録抄

- 「甘味料商品の變遷」一橋大学研究年報『商学研究』九（一九六五）
「鉄鋼炭素分析法の發展」一橋大学研究年報『自然科学研究』八（一九六六）
「明治明代の商品学教科書補足」『商品研究』一八（一九六七）
「溶媒抽出—直流ボーラログラフ法によるリン酸の間接定量」『分析化学』一六（一九六七）
「溶媒抽出—直流ボーラログラフ法によるヒ酸の間接定量」『分析化学』一七（一九六八）
「溶媒抽出—直流ボーラログラフ法によるケイ酸の間接定量」『分析化学』一七（一九六八）
“Polarographic determination of traces of phosphorus arsenic and silicon using solvent extraction of molybdenumheteropoly acids.” *Hitsubashi Journal of Arts and Sciences*, Vol. 9, No. 1, 1968
「光電比色計—商品開発および企業生産活動事例研究」『商品研究』二〇（一九六九）
「新金屬チタンの發展」『一橋論叢』第六十三卷第一号（一九七〇）
「商品の多様化について（鉄鋼二次製品の薄板の新製品開発）」『商品研究』二一—三・四（一九七〇）
「商品学とヴィジョン」『商品研究』二二—一（一九七一）
“Indirect A. C. Polarographic Determination of Niobium using Solvent Extraction.” *Hitsubashi Journal of Arts and Sciences* Vol. 13, No. 1, 1972
「商品の使用価値と品質」『商品研究』二三—三・四（一九七二）
「使用価値と品質（研究ノート）」『一橋論叢』第七十卷第二号（一九七三）
「塩化物抽出分離—直流ボーラログラフ法によるヒ素の定量」『分析化学』二三—九（一九七四）

- 「本邦商品思想の諸問題と商品学創設への影響——大和本草・物類品隲・日本山海名物図会・日本山海名産図会などを中心として」——『橋大学研究年報』『自然科学研究』一六（一九七四）
- 「比較商品学書論考——ヨハン・ベックマンと平瀬徹斎——」『商品研究』二五—一・二（一九七四）
- 「物産学と蘭学——本邦商品学の形成過程への回顧——」『商品研究』二五—三・四（一九七四）
- 「技術の変遷——苛性ソーダの製法転換によせて——」『橋大学研究年報』『自然科学研究』一七（一九七七）